顎変形症の手術を受けられる患者様へ

患者氏名　@PATIENTNAME　殿(ID：@PATIENTID　)　生年月日：@PATIENTBIRTH_和暦　性別：@PATIENTSEXN　　説明日:　　説明者：

	入院当日～手術前日	手術当日(術前)	手術当日(術後)	術後1日目	術後2日目	術後3日目	術後4日目～	退院当日
食事	・常食・食事制限はありません。	・食事は0時以降禁止です。 ・水分(お茶・水・経口補水液)は麻酔科医師の指示で禁止時間が異なります。	・酸素マスクが外れたら、歯科医師の許可により水かお茶を摂取できる場合があります。	・昼から流動食が開始になります。退院の日まで食上げはなく流動食となります。 				・退院日は朝食までとなります。 ・退院後の食事は柔らかい形態にしてください。
安静	・病院内での制限はありません。	・安静に過ごしてください。	・集中治療室に入室し，ベッド上安静です。 ・心電図・酸素モニター酸素マスク・血抜きの管・点滴・尿管の管・血圧計がついた状態での管理となります。 (酸素モニターは術後2日目まで装着します) ・腫れを軽減させるためバンテージを装着します。	・集中治療室から戻ってきた後、制限はありません。	・制限はありません。			・退院後は、軽い運動なら制限はありません。
検査	・採血・レントゲンがある場合は事前に歯科医師、看護師が説明をします。 ・看護師が血圧、体温を計測します。検温は3回/日(6時・10時・19時頃)行います。 ・医師による口元の知覚の検査や口腔内診察があります。			・採血・レントゲンがあります。		・採血があります。		・検査の予定はありません。
				・朝9時より病棟の処置室で診察があります。 ・ワイヤーとゴムで顎の固定が始まります。 ・(上顎を手術された方は)腫れ予防や鼻の形を整えるためにテープで固定をします。 ・手術後2～3日程度で血抜きの管を抜きます。				
内服	・常用薬は歯科医師・看護師・薬剤師が確認します。薬剤によっては休薬する場合があります。	麻酔科の先生からの内服指示がある薬だけ飲んでいただきます。(前日に看護師からの説明があります。)	内服はありません。 	・入院時に確認した常用薬は手術翌日の昼より内服を開始してください。 ・顎が固定され、錠剤がのめない場合は、薬を溶かして飲んでください。		・痛いときは痛み止めを飲んでもらいます。 ・痺れや感覚が鈍い場合は、神経修復の作用があるビタミン剤を内服してもらうことがあります。		
点滴	・点滴はありません。	・朝7時半から8時半の間に担当歯科医師が水分補給の点滴を開始します。 ・手術室へ行く際には抗菌薬の点滴を行います。	・感染予防のために抗菌薬と腫れ・痺れを軽減するための点滴を行います。 ・痛みのコントロールのためのポンプ式の痛み止めを使用することがあります。 			・点滴はありません。		
清潔	・病棟浴室でシャワーを行ってください			・温タオルでお体を拭いていただきます。			・シャワーが可能となります。(男性は月・水・金曜日、女性は火・木・土曜日になります。)利用日以外は、体を拭くタオルの利用が可能ですので、お申し出ください。	・退院後の入浴は、熱い湯船は避け、シャワー程度にしてください。
その他 	・入院時に必要な書類を確認します。下記をご準備ください。 ①手術承諾書などの同意書 ②入院時質問票 ・入院中の貴重品管理はご本人またはご家族でお願いします。	・7時半までには手術衣に着替えてください。 ・手術室入室時は、T字帯を着用してください。 ・眼鏡、入れ歯、指輪等の貴金属は外してくさい。 ・起床時には歯磨きをして口の中を清潔にしてください。	・術後は唾液に血液が混ざります。飲み込むと気持ち悪くなることがあるので吐き出す・吸引で引くようにしましょう。 ・気持ち悪いときはナースコールをしてください。	・うがい液を用いて口腔内を清潔にしてください。可能な部位はブラッシングをしてもらいます。(別紙参照してください。) ・(上顎の手術をした方は)鼻をかむことができません。鼻が詰まった時はお渡しする点鼻薬を使用してください。 また鼻血が出たときはナースコールをしてください。				※「顎変形症を受けられた方の退院後の注意」というパンフレットに沿って退院の説明を行います。 ※退院時にお荷物のお忘れ物がないか確認致しますので、お帰りの際はナースコールでお知らせください。

状況に応じて予定が変更になる場合があります。ご不明な点などありましたら、お気軽にお尋ねください。

@univ_name@hosp_nameS　2020.08.01